

## コミュニティ助成事業で 太鼓を新調

2月

はなづか太鼓(志賀清一会長)が、17年度コミュニティ助成の補助を受けて、桶胴太鼓4台を購入、さらに太鼓11式の革を張替えました。事業費は250万円(補助額同額)

この事業は(財)自治総合センターが、全国自治宝くじの普及広報として、地域で活動している団体等に経費を助成しています。

志賀会長は「新しい太鼓で、演奏の幅を広げていきたい」と抱負を話していました。



▲新調した太鼓で演奏する「はなづか太鼓」の皆さん(道の駅そうま)

## 原町高校2年 佐藤愛さん(長泥) 3/14 全国高校弓道大会に出場

先に行なわれた高校弓道の東北大会で、原町高校女子弓道部が優勝し、全国大会出場を果たしました。

全国大会前、同校弓道部に所属する佐藤愛さん(長泥)が役場を訪れ、菅野村長に全国大会の出場を報告。菅野村長から愛さんに、村からの激励金が贈られました。



▲村長から激励金を受け取る愛さん

日から20日までの3日間、福岡県で開催され、同校は惜しくも決勝に進出できませんでしたが、3年生へ進級する今年、さらなる活躍が期待されます。

## みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



自分たちが住む地域に関心を持ち、そこに生活する住民同士が協力し防犯・交通安全に努めることが、安全・安心して暮らせる地域づくりに必要不可欠です。



▲発隊式の様子

このようなことから、非行や子どもへの犯罪、交通事故を防止することも、高齢者の暮らしを見守ろうと、草野字本町・向押・目玉打・大師堂地区の48戸で「草野田町組見まもり隊」が結成されました。



▲松田署長と村長から帽子などを受け取る役員ら

## 安全・安心は地域から

3/18

草野田町組が「自主防犯組織」結成

## 今年の無火災を祈念して

3/7

### 火の用心ゲートボール大会

消防飯館分署と村ゲートボール協会主催による「火の用心ゲートボール大会」が、草野地区の「ふれあい交流館たてやま」で開催されました。

この大会は、春の全国火災予防運動にちなんで毎年開催しています。

今年の大会には村内の8チームが出場。3ブロックに分かれ、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

また、大会に先立ち、初期消火訓練等も実施され、参加者らは消防署員の指導を受けながら、消火器の使用法などを学びました。

大会の結果は次のとおりです。

優勝・宮内、準優勝・深谷、第3位・前田・八和木



▶熱戦を繰り広げる選手たち



▶消火訓練の様子

## 「家庭のしあわせ」とは

孫が歩くようになり、目が離せなくなってきました。そのような毎日を送っていたら、20数年前父が亡くなった時、「家庭のしあわせとは」を考えさせられたことが、ふと思い出されました。と言いますのは、こうです。

父が亡くなった時、私の子どもはまだ1歳そこそこで、誰か一人がついてなければならぬ状態でした。その時に、片親を失って思ったことは、「一番下の孫が小学校入学近くになり、手がからなくなり、ある程度目が離せ、しかもその親の若夫婦が一生懸命共に働いて、さらに祖父母が病気を看護などの家族負担がなく、元気でいる期間が何年続いていくか。それが『家庭の最高のしあわせ』ではないのか」と、しみじみと思った

のでした。

家庭のしあわせの中には、お金も大切でしょうし、仕事も名誉もいろいろあるでしょうが、三世代全員が家族の手をわずらわせないで過ごせる期間が長く続く、という以上のしあわせはないのではないのでしょうか。

20数年前、私の家ではその期間が全くなかった訳です。周りには5年、10年、あるいは20年も続いている家庭がけっこうあるはずですから、皆さん見渡してみてください。

さて、めぐりめぐって代が替わり、わが家にそのしあわせがやってくるのには、あと10年後ぐらいでしょうか。その時、私たち夫婦は70歳近くです。元気でいられるやら。そして、その後何年健康でいられるかが勝負になってきます。このような小さな、そして身近な「しあわせ」を大切にしたいものですし、感じたいものです。

いいいたて流「までライフ」とは、そのようなことではないでしょうか。

平成18年3月28日

飯館村長 菅野 典雄





### 誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
星 成海ちゃん	弘幸・幸恵	上 飯 樋
高野 麗奈ちゃん	和彦・奈々	大 倉

すくすくと元気に育ってね

### 結婚おめでとう

届出はありませんでした

### お く や み

氏 名	年 齢	行政区
佐 藤 ト ミ	67	小 宮
佐 藤 緑	92	伊丹沢(前田)
大 内 キミヨ	87	伊丹沢(佐真)
川 里 常 治	93	宮 内
木 幡 武 智	84	草 野
高 橋 孝 男	59	深 谷
高 橋 秋 喜	76	草 野

ご冥福をお祈り申し上げます

※ ( ) 内は出身地区です。

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出て下さい。

### ひとのうごき

(平成18年3月1日現在)

人 口	今月 (前月比)	昨年同期
男	3323人 (-1人)	3355人
女	3352人 (-10人)	3413人
計	6675人 (-11人)	6768人
世帯数	1736戸 (-3戸)	1867戸

◆◆◆ 2月1日~28日までの人口動態 ◆◆◆  
転入 11人 転出 18人  
出生 3人 死亡 7人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)  
昨年同期は、平成12年国勢調査に基づく現住人口

## 飯館村の田植え踊りを DVDで永久保存 「地域伝統文化伝承事業」

2月

### 4つの田植え踊りを収録



▲収録の様子(写真は松塚の田植え踊り)

国(文化庁)が、地域民俗芸能の後継者育成と将来への伝承を目的として、各種取り組みを進めている「ふるさと文化再興事業」。

このうち、伝統芸能をデジタルDVDに収録して保存・活用する「地域伝統文化伝承事業」の平成17年度実施対象地区として本村が選定され、このたび村内4団体(飯樋町・八和木・比曽・松塚)の田植え踊りを収録しました。

八和木の只野さん宅で行われた収録では、飯樋町・八和木・松塚の収録が行なわれ、華やかな衣装を着た踊り子たちが、緊張した面持ちで撮影に挑んでいました。

また、1月には比曽の田植え踊りが田神社にて収録されています。

DVD...【Digital Versatile Disk】データ記憶媒体の一種で、CDと同じ光ディスクメディア。映像・音声の劣化が少なく、一般家庭にも広く普及している。



▲収録の様子(写真は比曽の田植え踊り)

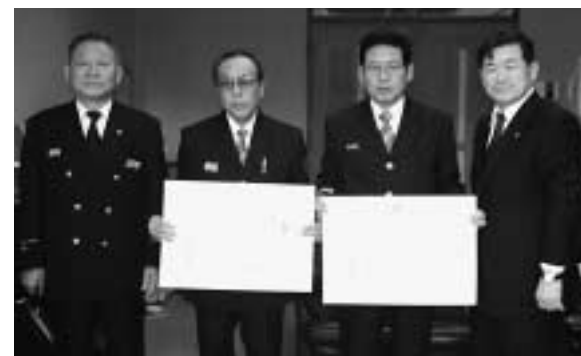
## 荒副団長と庄司分団長に 消防庁長官表彰

3/20

村消防団の荒利喜副団長と庄司久則分団長が、平成17年度消防庁長官定例表彰で、永年勤続功労章を受章されました。

この章は、消防団員として30年以上活動し、成績優秀と認められる現職団員に贈られます。

贈呈式は役場村長室で行われ、菅野村長からお二人に章記とバッジが贈呈されました。



▲左から大越分署長、荒副団長、庄司分団長、村長

## 親子が真剣勝負！

3/18

### 親子ふれあい剣道

飯館剣道スポーツ少年団(三瓶政美代表)の「親子ふれあい剣道」が、柔剣道場にて開かれ、団員と親による剣道の試合が行なわれました。

これは、1年間の練習成果を発表するとともに、親子のふれあいの時間をつくろうと、同少年団が17年度最後の活動日に合わせて行なったものです。

この日は、7組の親子が対決。場内には、元気なかけ声や声援が響いていました。



▲親子試合の様子



▲講演会の様子

公民館が主催する「子育て講演会」が村公民館で開かれ、会員など50人が参加し、子育てや男女共同参画について学びました。今回の講師は、県男女共生センター職員の方野和彦さん。講演で天野さんは、「一緒にいるだけでは家族になれない。これからは家族を『する』時代です。家族



▲講演する天野さん

の軸は夫婦であり、親が幸せだと子どもも幸せになれる」と、家族のあるべき姿などを講話。参加者らは、天野さんの講話に熱心に耳を傾けていました。

## いつもと違うスポーツで

2/19

### 村スポーツ少年団交流会



▲輪投げを楽しむ団員たち

村スポーツ少年団(庄司和明本部長)の交流会が柔剣道場で開催され、参加者たちがニュースポーツで交流しました。これは、団員等の親睦を図ることを目的に、毎年この時期に実施しています。この日は、5団体の団員のほか、一般参加者合わせて89人が参加。ターゲットバードゴルフなどの種目で得点を競い合いました。

子どもが自分の言葉で伝えたいですか？

3/22

### 元気がでる子育て講演会

公民館が主催する「子育て講演会」が村公民館で開かれ、会員など50人が参加し、子育てや男女共同参画について学びました。今回の講師は、県男女共生センター職員の方野和彦さん。講演で天野さんは、「一緒にいるだけでは家族になれない。これからは家族を『する』時代です。家族